

表紙写真は国府支所なすび部会  
横山俊昭 部長。

国府支所管内では、ナスの出荷  
が盛んです。国府支所なすび部会  
は、生産者10人で栽培を行って  
おり、長年経験を積んだ技術の高い  
ベテラン生産者が多い部会です。

高温のときにいつきに成長す  
るナスは実が柔らかくて美味しい  
そうです。

横山部会長は、「病害虫対策を徹底  
し、選定作業をしつかり行うことが  
肝心だが、真夏の作業は何より熱中  
症に気をつけることも重要。」と語ら  
れました。秋は台風との闘いになり  
ますが、出荷は10月末まで続く予定  
です。

今年度の当部会での総出荷量は約  
80ト、目標販売金額は2,800万  
円を計画しています。



JA NEWS 2021 NO.627

## 第52年度通常総代会

6月26日、JA会館別館大ホールで第  
52年度通常総代会を開き、531人（本  
人出席39人、書面議決492人）が出  
席しました。  
新型コロナウイルス感染症拡大を避け  
る為、極力、書面議決による議決権行使  
をお願いし、会場は「3つの密」を避け  
るため、座席の間隔を取り、扉も開けた  
ままとし、会議時間も短縮を心がけまし  
た。  
勝占支所の田中稔氏が議長として議事  
進行を務め、令和2年度事業報告や令和  
3年度事業計画など提出議案及び附帯決  
議案が全て原案通り承認されました。

### 組合長挨拶

昨年度のが国の経済は、新型コロナウイルス感染症  
の流行により世界的な経済停滞に晒されました。4月には  
全国緊急事態宣言が発動され、国民に外出自粛が要請  
されたほか、東京オリンピック・パラリンピック開催延  
期など感染症拡大防止のために経済・社会活動の人為的  
な抑制を余儀なくされました。

一方で、日銀の金融緩和強化、政府の緊急的な経済対  
策が打ち出され、経済活動の再開とともに徐々に回復基  
調を辿りましたが、感染再拡大と落ち着きを繰り返して、  
景気基調の持ち直しも停滞しました。

農業面では、経済活動が大きく制限されたことから、  
農業者にも大きな影響を及ぼしました。農林水産省では、  
経営継続補助金、高収益作物次期作支援交付金など、農  
業者に対して新型コロナウイルス感染症に対する支援策  
が施されました。

JA徳島市では、このような状況を踏まえ、農業者へ  
の生活支援を目的として無金利融資制度の「新型コロナウイルス  
ウィルス感染症対応資金」を設立するとともに、経営継  
続補助金などの申請手続きのご支援をさせて頂きました。  
また、米生産者に対するJA徳島市独自の助成支援や農  
業資材等の引落日についても配慮をさせて頂きました。

一方、改正農協法施行後5年の見直し時期にあたる農  
協改革については、政府の規制改革推進会議において、  
各JAが、農家所得増大に向けた具体的方針、中長期の収  
支シミュレーション、准組合員の意思反映と事業利用方  
針等に基づき改革を策定し、これを農水省が指導・監督  
を行う仕組みを構築するとしており、JAは自己改革を推  
進する中でその対応を図る必要がございます。

さらに、長引くマイナス金利政策により信連奨励金は事業年度ごと減少することが決定  
しており、JA経営はさらに厳しい状況となって参ります。  
このような状況を受け、6月18日に開催した中央会主催の「県下JA常勤役員・参事会議」  
において、県域統合JAの発足に向けた合併協議会を令和3年度中に設置すると発表しま  
した。統合JAの発足時期は、日銀が示した「適用期間内に経営統合等に取り組んだ金融  
機関に対して特別付利相当額を支援する」との制度を活用する為、令和6年4月に発足す  
る方向で計画しております。

JA徳島市が統合JAに参画するか否かにつきましては、統合JA構想の内容も検証し  
つつ、7月以降の理事会で慎重審議を尽くしたいと考えております。

以上のような情勢の中、

JA徳島市は経営基盤強  
化の取り組みを喫緊の最  
大たる課題として掲げる  
とともに、「農業・地域  
の成長支援」の一環とし  
て、農林中金や各連合会  
と連携して「営農・経済  
事業の成長・効率化プロ  
グラム」を実践しており、  
引き続き、「農業者の所  
得向上」「農業生産の拡  
大」「地域の活性化」の  
基本目標の実現に向け、  
効率的な事業展開や新た  
な農業振興を図る改革に  
取り組んで参ります。

最後に参りましたが、  
令和2年度決算につきま  
しては、徹底した経費削  
減や債権回収等に取り組  
み、約4億3千6百万円  
の当期剰余金を挙積する  
事が出来ました。これも  
ひとえに組合員皆様方  
のご理解とご協力の賜物  
であり、心より厚く御礼申  
上げます。

総代の皆様方におかれ  
ましては、農業並びにJA  
を取り巻く現状にご理  
解を賜り、どうか事業運  
営に尚一層のご協力、ご  
支援をお願い申し上げます。



令和2年産ブロッコリー 12億円突破!!



ブロッコリー統一部の令和2年産は、梅雨入りが早かった影響で6月の出荷量は伸び悩みましたが、年明け1月～3月は気温が例年より高く、安定した出荷が維持できました。総出荷量は4,231ト(前年比100%)、12億8,400万(前年比100%)となり、14年産から7年連続で販売高11億円を達成することができました。

部会では、生産者185戸で約316畝を栽培し、発泡スチロール箱による氷詰め出荷で高品質を保ち、関西市場でトップの地位を確立しています。近年3,000トを超える出荷量に対応するため、17年と一昨年に、北部営農経済センターの野菜集出荷場の製氷機を増設して日量16トの氷を確保し、出荷体制を強化しました。また、出荷時に1箱1箱入念に目視で品質検査し、品質統一に努めています。6月2日は、北部センターにて、令和3年産



の作型導入品種説明会が開催され、それぞれの品種の特性や栽培について、種苗会社担当者より説明を受け、今後の栽培方針を固めました。

丸岡克之部会長は「令和3年産も品質統一を徹底し、安定出荷を目指したい」と意欲を燃やしています。

しいたけ 統一部会



- 令和2年度販売実績
- 数量 1421ト (前年比99%)
  - 販売金額 13億8千500万円 (前年比100%)
  - 単価 974円 (前年比101%)

◀中川部会長

6月23日、しいたけ統一部会総会が開催されました。

令和3・4年度役員

部会長	中川 浩樹	眉山
副部会長	福高 和宏	南部
副部会長	中西 吉男	眉山
会計	中河 昭一	佐那河内
監事	福山 雅夫	南部
監事	松長 護	眉山

れんこん 部会



- 令和2年度販売実績
- 数量 296ト・304キ (前年比115%)
  - 販売金額 2億2千748万円 (前年比119%)
  - 単価 768円 (前年比103%)

◀田村部会長

5月11日、れんこん部会通常総会が開催されました。

令和3・4年度役員

部会長	田村 彰彦
副部会長	近藤 英夫
会計	河野 一郎
監事	久保 仁志
監事	島田 賢治
幹事	元木 敏夫



セブンイレブンより すだちを使用した新商品

▲セブンイレブンより、当JAのすだちを使用した、新商品が4点が発売されました。四国地方限定商品で、セブンイレブン店頭でお買い求めいただけます。写真は、徳島県産すだち入り鶏唐揚げぽん酢、たっぷり胡麻だれの豚しゃぶパスタサラダです。



ぶっかけすだちうどん

▲当JAと(株)久保田麺業(丸亀市)のコラボレーションで開発された、「ぶっかけすだちうどん」が発売されます。すだちくんのパッケージが印象的で、お土産物に最適です。当JA本所経済課、各ミニ資材店舗などでお買い求めできます。(お問い合わせ:本所経済課 ☎622-6337)



6/30

露地すだち摘果・摘葉講習会

佐那河内露地すだち部会は、6月30日に摘果・摘葉講習会を開き、131人が参加しました。生産者は、4カ所の圃場に分散され、営農指導員と支援センターが協力し、摘果・摘葉の仕方について実演しながら講習を行いました。高品質な果実を生産し、生産量の確保のため毎年、講習会がこの時期に行われています。

今年は昨年と比べ着花数が非常に多く、着果数も極めて多い傾向。「だんご成り」や果実が多い枝は果実の日当たりが悪くなるため、小さい果実や傷等の痛みがあるものを

摘果し、果実にひつつく葉を除去していく作業に、指導員は「とにかく、もくもくと。熱中症にも十分、気をつけるように。」と説明し、梅雨時期や、雨が続く日はかいよう被害の恐れがあるため、晴天の日に行うように、今後の防除について等の注意喚起がありました。

すだち統一部会 森下嘉文部会長は、「毎年の講習会で生産者に技術の向上を図り、高品質な果実の出荷に繋げたい。」と話されました。

農産工場からこんにちは!



農産工場 武田です。今月は農産工場からお届けします。



▲6月27日、とくしまマルシェとタイアップした「笑味ちゃん食堂」が共済連の主催で開催され、四国放送の「ゴジカル!」で紹介されたレシピの無料試食会などが行われました。抽選会もあり、当JAのあわっちゃまめを166名分(1人あたり3袋ずつ)が当選者に配布されました。また各JAの出店ブースには農産工場が出店し、すだち加工品や、すだち飲料などが販売され好評でした。



▲赤シソの塩蔵作業が最盛期を迎えています。加工されたものは、三島食品(株)に出荷され、お馴染みの「ゆかり」として販売されています。農産工場では、選別機や洗浄機にかけ、梅酢と塩を混ぜて揉み込み、脱水機にかけ作業を行っています。管内では今年度、41戸の生産者が876畝を栽培しており、総集荷量95トを計画しています。

農産工場では従業員を募集中です。

業務内容	農産物選別加工製造業
就業場所	J A 徳島市農産工場 (佐那河内村下字菅沢 184)
就業時間	8:30 ~ 17:00 の間で相談可
募集人数	若干名 <span style="float:right">お問合わせ</span>
賃金	時給 800円 <b>088-679-2411</b> (受付は月~金曜日の8時半~17時まで)
通勤手当実費支給 (上限あり)	

次回は、燃料サーピスからお届けします。

## こどもみらい農園プロジェクト始動！

当JAは、「自然保護団体あおいろ」と協働で、6月初旬より「こどもみらい農場」の畑の整備を行っています。「こどもみらい農場」では、



子どもたちと野菜を栽培し、収穫した野菜などは、児童福祉施設などに提供する予定です。当JAが所有する徳島市川内町の直売所跡地16㍓を農地として提供し、栽培の指導や活動のサポートを行います。

小角久雄参事は、「未来ある子どもたちへの食育のため、全面的に協力していきたい。」と話しています。(▲写真は◎岩佐信さん(自然保護団体あおいろ代表)◎小角参事)

## 佐那河内村いちご栽培振興協議会設立総会を開催

佐那河内村「さくらももいちご」は、高齢化や担い手不足による生産量の減少が課題となっています。ブランドを維持するため、この度、移住者による新規就農者の確保と高設栽培への転換やスマート農業の導入などにより、生産量の維持と発展を図り、持続可能ないちご栽培振興を目指す組織として、佐那河内村、徳島県、JA徳島市など関係団体で「佐那河内村いちご栽培振興協議会」を設立しました。

総会では、会長に岩城福治村長、副会長に松田清見組合長、及び丸谷修一東部農林水産局長を選任しました。

今後は、担い手確保や移住・定住に関して、「佐那のいちご塾」運営部会と、高設栽培やスマート農業の研究、次世代技術研究部会の2つの部会で事業を進める予定です。今回、日本航空株式会社より、「さくらももいちご」の情報発信についての提案があり、事業の連携を予定しています。当日は、坂本徳島支店長と澤邊ふるさとアンバサダーが出席されました。



(▲写真は左から、松田組合長、岩城村長、丸谷東部農林水産局長。)

## 「あわっちゃんまめ」がふるさと納税返礼品に



当JAは、茶豆風味の枝豆新ブランド「あわっちゃんまめ」をふるさと納税の返礼品として登録し、ふるさと納税サイトにて、6月中旬より受付を開始しています。

ふるさと納税サイトを活用し、新ブランドの認知度を高めたいというねらいです。

徳島の伝統芸能「阿波踊り」にも掛け、キャッチコピーは「夏季限定！踊りだすうまさ」と紹介しています。寄付金額は11,000円で専用発泡スチロールに入った枝豆15袋(1袋約200g)をお届けします。コロナ禍でも、おうち時間の充実に、ビールのおつまみにも、また子どものおやつとしてもファミリーで楽しめます。他にも、当JAではすだち、甘藷、すだちやゆずの加工品などを登録しており、人気を集めています。

「あわっちゃんまめ」の発送は7月より開始されています。北部営農経済センター営農課 河野総治職員は「コロナ禍で、ふるさと納税の利用が大きく伸びてきている。全国の方に「あわっちゃんまめ」を知ってもらいたい。」と意気込んでいます。

## おいしい食材でひとり親家庭を応援！！

当JAは県の委託を受けた県母子寡婦福祉連合会から依頼を受け、6月8日、「とくしま夢みらい定期便」の県産食品を配送委託施設へ納品しました。「とくしま夢みらい定期便」は、県が新型コロナウイルス感染症拡大による影響の長期化が見込まれる中、「ひとり親家庭」を応援するため、県内のJAや県漁業協同組合連合会、地元の食糧品スーパー等から購入した県産食品等を、希望する「ひとり親家庭」に無償提供する取り組みです。



今回は、精米5kg、人参やジャガイモ等、カレーの材料や卓上のり、鳴門金時チップスなど5000円相当の常温食品を100セット納品しました。納品された食品は各家庭に配送するため、作業を委託された障がい者支援施設「眉山園」によって個配送用に荷造りが行われます。申込期限は10月31日までとなっており、基本5回コースの定期便を約1ヵ月から1ヵ月半おきに配送する予定です。

営農経済部 経済課 伊藤剛生 課長は「今回のような地域連携の取り組みに今後も積極的に参加していきたい。」と話しました。(写真は、「眉山園」に食品を納品する伊藤課長。)

## 南部営農経済センター コイン精米機がリニューアル



6月17日より、南部営農経済センターのきゅうり選果場前にある、コイン精米機が新しくなりました。

稼働時間は午前8時から午後7時まで(不定休)となっております。是非、ご利用ください。

## JA自動車共済損害調査サービス 表彰

JA自動車共済損害調査サービス最優秀組合賞に、JA徳島市が、また、個人では最優秀審査員として本所 金融共済部 共済推進事務課 赤川朝美職員が表彰され、W受賞を果たしました。

【写真は◎はJA共済連 徳島 大木 本部長。◎は赤川職員】



## 営農指導兼経済渉外担当者会 渉外活動の強化を



5月28日、本所にて営農指導兼経済渉外担当者会が開催されました。渉外活動の強化を図ることを目的として、営農指導兼経済渉外担当者12名を対象に渉外活動指導・研修が行われ、より一層、組合員の方々の満足度向上に努められるよう志気を高めました。研修では、肥料・農薬・生産資材のシェア率向上を目指し、今年度から導入された「生産者データベース」を活用した渉外活動の進め方や、互助会の推進強化に向けて、商品知識を深めました。さらに、ロープレ研修を行い、具体的な課題を明確化し、今後の活動に繋がります。また今回、営農指導員資格認定試験合格者6名の表彰式も行われました。

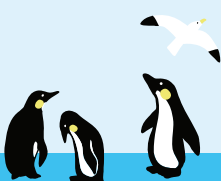
表彰を受け、また研修に参加した北部営農経済センター 経済課 清井新也職員は「我々、営農指導兼経済渉外員の資質向上のために有意義な研修だった。今後も日々、知識向上に努め、組合員の方々から信頼されるよう努力を続けたい。」と意気込みを話しました。

(◀写真は互助会推進のロープレ研修の様子。)

営農指導員資格認定試験合格者

清井 新也 (北部)	澤口 知宏 (東部)	高橋 和輝 (南部)
福井健太郎 (北部)	松本 秀平 (南部)	山田 真也 (北部)

(五十音順)



## 「新型コロナウイルス治療に関する新しい動きについて」 徳島往診クリニック 吉田大介

# 健康 百科

みなさん、こんにちは。徳島往診クリニックの吉田です。いよいよ東京オリンピックも近づきました。諸外国から約10万人の来日が見込まれていますが、既に新型コロナウイルス感染陽性の選手も確認されており、オリンピック後の感染爆発が起こらないことを祈るばかりです。

7月4日時点で、日本国内の65歳以上の高齢者における2回以上の接種割合は33.87% 全人口に占める2回以上の接種割合は13.77%となっていて、集団免疫を獲得するにはまだまだ時間がかかりそうです。また、ワクチン接種の進んだ海外でもデルタ株（インド株）による感染再拡大が始まっていて新たな懸念材料となっています。

現在日本国内で、新型コロナウイルス感染症に承認されている医薬品は次の3つです。

1. レムデシビル：もともとはエボラ出血熱の治療薬として開発された抗ウイルス薬で、コロナウイルスを含む一本鎖RNAウイルスに抗ウイルス活性を示します。日本では昨年5月、重症患者を対象に厚生労働省が特例承認し、今年1月には添付文書が改訂され、中等症の患者にも投与できるようになりました。
2. デキサメタゾン：重症感染症や間質性肺炎などの治療薬として承認されているステロイド薬。英国で行われた大規模臨床研究では、人工呼吸器を装着した患者と酸素投与が必要な患者で死亡率を有意に低下させた一方、酸素投与の必要ない患者では効果が見られなかったとされています。米NIHのガイドラインでも、人工呼吸器や酸素投与を必要とする患者に対する治療薬として推奨されています。
3. バリシチニブ：新型コロナ感染症は重症化すると、サイトカインストームと呼ばれる過剰な免疫反応に重篤な臓器障害を起こすことが知られています。バリシチニブはサイトカインによる刺激を伝えるJAK（ヤヌスキナーゼ）を阻害することにより免疫異常による炎症を抑制し、こうした重症患者を治療できると期待されています。

そのような状況の中、日本国内でも治療に向け新たな薬の開発や治験が始まっています。その一つは「抗体カクテル療法」と呼ばれる点滴薬ですが、昨年新型コロナウイルスに感染したトランプ前大統領が投与を受け、驚異的な回復を見せたことでも知られているものです。海外の臨床試験では、入院や死亡のリスクを7割減らす効果などが確認されたといい、既に米国などで緊急使用許可を得ていますが、国内では中外製薬が同治療薬を厚生労働省に承認申請し、審査期間を短縮する「特例承認」の適用を求めています。この点滴薬は、新型コロナ感染症からの回復者の抗体を利用するなどして作った「人工抗体」を二つ組み合わせたものです。

また、従来から国内では消化管の寄生虫が引き起こす感染症やダニによる皮膚感染症の治療薬として承認されている「イベルメクチン」という薬について、新型コロナウイルス感染症の軽症患者を対象に、その効果や安全性を調べる臨床試験（治験）を国内で始めると、医薬品を手がける興和が7月1日発表しました。新型コロナウイルス感染に対するイベルメクチンの治療効果については、重症化の予防効果がある可能性が指摘される一方で、世界保健機関（WHO）は効果が不確実でメカニズムにも不明点が多いという理由で推奨しないとするガイドラインを発表しています。しかしながら、その効果に期待する国は多く、発展途上国を中心に世界各国でも治験が実施されています。



## 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた農業者を対象とした「高収益作物次期作支援交付金」について

1月～3月に発令された、新型コロナウイルス感染症のまん延防止のための、緊急事態宣言に伴う影響により、売上減少の影響を受けた高収益作物について、国内外の新たな需要等に対応する観点から、次期作に前向きに取り組む農業者の支援です。

### 対象品目

- 令和3年1月～3月に豊作等の影響によらず、緊急事態宣言の再発令により、市場取扱金額が、平年の2割以上減少した月のある以下の高収益作物
- 全国で対象となる品目（メロン、つまもの類（わさび、穂じそ等）、香酸カンキツ（すだち、かぼす、ゆず等）、切り花）
  - 徳島県で対象となる品目（カリフラワー、つるむらさき、ししとう、トウガラシ）

徳島市、佐那河内村の各再生協議会の締め切り：7月30日

※支援対象者、支援内容につきましては、（期限が間近になっておりますので）農政局まで直接お問い合わせをお願いいたします。

中国四国農政局 生産部 園芸特産課

☎ 086-224-9413

### 無料法律相談

島田清弁護士

通常通り開催いたしますが新型コロナウイルスの感染状況によりましては開催できない場合もございます。

日時 第3土曜日 9:00～12:00

金融共済部へ事前に予約が必要

申込先 ☎ 088-622-8003

場所 本所1階金融相談室

### 無料税務相談

賀上延啓事務所

下記の通り開催予定ですが、新型コロナウイルスの感染状況によりましては、開催できない場合がございます。

日時 8月17日(火)、24日(火)、31日(火) 9:30～15:00

申込先 総務部へ事前に予約が必要

☎ 088-622-6335

場所 本所1階ローンセンター

## 理事会だより

(令和3年6月14日)

### 協議事項

- (1) 行政庁提出業務報告書について
- (2) 令和3年度会計監査人の監査報酬について
- (3) 令和2年度末監事監査回答書について
- (4) 役員の数に関する細則の一部変更について
- (5) 組合と理事の利益相反取引について  
案件①、案件②、案件③

(6) その他

### 報告事項

- (1) 第52年度監事監査報告書について
- (2) 令和2年度内部監査（資産査定）の報告について
- (3) JAバンク基本方針に基づく「経営管理資料」について
- (4) 債権回収について
- (5) 職制規程別表3の一部変更について
- (6) 理事会決議事項処理状況報告

(7) 前回総務・営農経済委員会および金融共済委員会の協議内容について

(8) その他

(令和3年6月26日 総代会終了後)

### 協議事項

- (1) 令和3年度役員報酬（理事）の決定について
- (2) みのり監査法人との監査契約締結について
- (3) その他